

A 基礎

練習の答えと考え方

問1

答え 寄与

解説 どちらも、役に立つことや力を添えることを表す。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問2

答え 簡潔

解説 冗長は無駄に長いこと、簡潔は必要な内容を短くまとめていること。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問3

答え ウ

解説 懸念は、好ましくない事が起きないかと気につけ、心配すること。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問4

答え 客観

解説 個人の好みではなく、観測できる事実を基にする見方。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

A 基礎

練習の答えと考え方

問5

答え ①減少 ②縮小

解説 ①は数量、②は広さや範囲という比較の観点をそろえる。

確認 ①減少、②縮小と正しく対応させれば正解。

問6

答え 実在

解説 架空は事実として存在しないこと、実在は実際に存在すること。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問7

答え 決心

解説 行動するという心をはっきり決める意味が共通している。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問8

答え 供給

解説 需要は求めること、供給は必要とする側へ物などを提供すること。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

B 標準

練習の答えと考え方

問9

答え 具体的。毎週、疑問点を一つ調べて記録するという行動が、はっきり示されているから。

解説 抽象的な方針を、実際の行動として分かる形にしている。

確認 「具体的」の表記と、毎週の調査・記録という行動が明確な点を説明できれば正解。

問10

答え 概要

解説 細部ではなく、物事全体のおおよその内容を表す。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問11

答え ①ひくい ②やすい

解説 ①は位置、②は価格という意味なので、対義語が変わる。

確認 ①ひくい、②やすいの両方が正しければ正解。

問12

答え ①平易 ②容易

解説 平易は理解のしやすさ、容易は実行のたやすさを表す場面によく合う。

確認 ①平易、②容易の両方が正しければ正解。この文での自然さを問うもので、用法を一律に限定する説明は不要。

B 標準

練習の答えと考え方

問13

答え ①発見 ②発明

解説 発見は存在していたものを新たに見いだすこと。発明は新しい物や方法を考え出すこと。

確認 ①発見、②発明と正しく対応させれば正解。

問14

答え 促進

解説 抑制は勢いを抑えること、促進は物事が進むよう働きかけること。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問15

答え 厳格

解説 ここでは規則の運用の厳しさという観点で対比している。

確認 指定された語群・形式に従い、文脈に合う語を正しく答えれば正解。

問16

答え ①。ここでは、今までにない新しさを感じる発想という意味だから。

解説 斬新は、発想や方法などがきわめて新しいこと。食材の鮮度を表す語ではない。

確認 ①を選び、発想の新しさが共通することを説明できれば正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問17

答え 普遍。特定の地域だけでなく、広く共通して当てはまる性質を表すから。

解説 特殊と普遍は、当てはまる範囲という観点で対比できる。

確認 普遍を選び、特定の範囲に限られない意味を本文と結び付ければ正解。

問18

答え 利点→長所 欠点→短所

解説 それぞれ、よい面と不十分な面を表す。語群がないため、自然に置き換えられる表現を複数認める。

別解・許容 利点→メリット 欠点→デメリット／利点→よい点 欠点→悪い点／利点→有利な点 欠点→不利な点

確認 各下線部について、利点には長所・メリット・よい点・有利な点など、欠点には短所・デメリット・悪い点・不利な点などを認める。左右は自由に組み合わせてよい。文法が自然で、評価の向きと中心的な意味を保てれば、未掲載の答えも可。

問19

答え まだ判断を保留していたり、賛否を決めていなかったりする人も含まれるから。

解説 一方を否定しても、必ず反対側の立場になるとは限らない。

確認 保留・未決定・中立など、賛成でも反対でもない立場の可能性を示せば正解。

問20

答え 慎重に。必要な確認をして注意深く行動することを表し、過度に恐れていると決め付けないから。

解説 似て見える行動でも、言葉によって評価が変わる。臆病には恐れがちな性質への評価が加わる。

確認 慎重にを選び、必要な注意を払う行動という本文に合う理由を示せば正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問21

答え ①保存 ②保管。保存は状態を保つこと、保管は物を預かって管理することに重点がある。

解説 同じ物に両方の語が使える場合もあるが、ここでは何を重視しているかで判断する。

確認 ①保存、②保管の対応が正しく、状態の維持と預かって管理することの違いを示せば正解。

問22

答え 拒否

解説 承諾は受け入れること。拒否・拒絶は、受け入れない意思を示すこと。

別解・許容 拒絶

確認 拒否・拒絶を正解とする。漢字二字で、「依頼を～した」に自然につながり、引き受けない意思を示す他の語も可。ただし単なる保留や延期は不可。

問23

答え 減少は数が少なくなることで、まだ三羽残っている。一方、消滅はなくなることなので、この状況には合わない。

解説 程度が小さくなることと、存在そのものがなくなることとを区別する。

確認 減少は数量の低下、消滅は存在がなくなことを説明し、三羽残る事実に関係付けられれば正解。

問24

答え 個別の対応

解説 全体に同じ扱いをする一律と、一人一人に合わせる個別を対比している。

確認 「個別の対応」と答えれば正解。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問25〔10点〕

答え 適切

解説 事情によく合っていて、無理がないという意味が共通する。

採点 「適切」と正しく書ければ10点。部分点なし。

問26〔10点〕

答え 偶然

解説 必然は必ずそうなること、偶然は予測や意図によらず、たまたまそうなること。

採点 「偶然」と正しく書ければ10点。部分点なし。

問27〔10点〕

答え 縮小

解説 規模を大きくする方向と、小さくする方向を対比している。

採点 「縮小」と正しく書ければ10点。部分点なし。

問28〔10点〕

答え 精査

解説 内容を念入りに調べる意味である。単に記憶したり推測したりすることではない。

採点 「精査」と正しく書ければ10点。部分点なし。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問29〔15点〕

答え ①濃い ②強い。①は色の濃さ、②は期待する気持ちの強さを比べている。

解説 多義語では、同じ語でも結び付く名詞によって意味や対比の観点が変わる。

採点 ①濃い5点＋②強い5点＋色の濃さと期待の強さという二つの観点の説明5点、計15点。

問30〔15点〕

答え 軽視。少数の意見を重要でないものとして、まともに取り上げていないから。

解説 尊重は価値を認めて大切に扱うこと。軽視は重要でないとして軽く扱うこと。

採点 軽視の選択5点＋重要でないと扱う意味5点＋少数の意見を聞かない事実との対応5点。

問31〔15点〕

答え 相対的。隣町の会の五十人と比較し、それより八十人は多いと判断しているから。

解説 ここでは、他との関係や比較により成り立つという意味で相対的を用いる。

採点 相対的の選択5点＋比較に基づくという説明5点＋隣町の五十人を比較対象とした事実5点。

問32〔15点〕

答え ①考慮 ②天候と参加者の体力

解説 複数の事情を考え合わせて判断する意味。言い換える語は、前後の助詞や動詞にも自然につながる必要がある。

採点 ①考慮など、事情を判断に入れる意味を保ち、「天候と参加者の体力を～して」に自然につながる常用漢字二字の語5点。②天候5点、参加者の体力5点。未掲載の語も条件を満たせば認める。単なる記録や想像は不可。